

幸男, 河内 博, 片山 修, 宮崎秀夫: 8020 育成事業における要観察歯および歯肉炎への対応 - 3 年間の評価 - . 第 15 回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2004 年 7 月 24 日 .

- 27) 葎原明弘, 佐久間汐子, 峯田和彦, 高德幸男, 田村卓也: フッ化物洗口法によるう蝕予防効果の成人期における追跡調査, 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 314 頁, 2004 年 .
- 28) 泉福英信, 多田章夫, 津覇雄三, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 歯周疾患における *S. mutans* の歯表面付着阻害抗体の意義 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 327 頁, 2004 年 .
- 29) 清田義和, 葎原明弘, 小川祐司, 廣富敏伸, 山賀孝之, 高野尚子, 片岡照二郎, 濃野 要, 宮崎秀夫: 高齢者の咀嚼能力と日常生活動作遂行能力との関連性 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 354 頁, 2004 年 .
- 30) 佐藤 徹, 八木 稔, 河内 博, 片山 修: 歯科医師が経験した訪問歯科診療における介入的処置と自立的な日常生活の改善 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 362 頁, 2004 年 .
- 31) 佐久間汐子, 清田義和, 中林智美, 高德幸男, 石上和男, 宮崎秀夫: フッ化物歯面塗布とフッ化物配合歯磨剤の複合応用による乳歯う蝕予防事業の成果 - 就学時健診における評価 - . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 419 頁, 2004 年 .
- 32) 木元一成, 晴佐久悟, 山本武夫, 葎原明弘, 藤野悦男, 志村匡代, 田浦勝彦, 磯崎篤則, 荒川浩久, 小林清吾, 境 脩: 日本における集団応用でのフッ化物洗口に関する実態調査 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 420 頁, 2004 年 .
- 33) 八木 稔, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: フッ化物歯面塗布と複合応用されたフッ化物配合歯磨剤の早期使用における歯のフッ素症の発現リスク . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 424 頁, 2004 年 .
- 34) 金子 昇, 葎原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: ミュータンスレンサ球菌分離株のグルカン合成能とう蝕との関連 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 442 頁, 2004 年 .
- 35) 金谷登紀子, 金子 昇, 天池千嘉子, 福嶋牧子, 森田修一, 花田晃治: 固定式矯正装置とカリエスリス

ク及び口腔内細菌叢との関連 . 第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市, 2004 年 11 月 17 - 19 日 .

う蝕学分野

【著書】

- 1) 興地隆史, 石井拓男: 可児徳子, 末高武彦編 医療安全管理体制 . 新社会歯科学 . 医歯薬出版, 46-69, 東京, 2005.
- 2) 興地隆史: 海野雅浩, 小谷順一郎, 洪井尚武, 森崎市治郎編 医療安全対策とは . 歯科医療安全対策マニュアル . 医歯薬出版, 東京, 印刷中 .
- 3) 興地隆史: 脇田 稔, 山下靖雄, 明坂年隆, 前田健康編 新編口腔組織発生学・象牙質 / 歯髄複合体, 5: 臨床的考察 . 医歯薬出版, 東京, 印刷中 .
- 4) 武井典子, 石黒幸司: 診療室からはじめよう 科学的な健康教育 第 1 ~ 6 回, 歯科衛生士 28 (1-6), クインテッセンス出版 (株), 東京, 2004 .
- 5) 武井典子, 渋谷耕司ら: 川畑徹朗監修 ライフスキルを育む実践・歯と口の健康教育 . (株) 東山書房, 京都, 2004.

【論文】

- 1) Angelova, A., Takagi, Y., Okiji, T., Kaneko, T., Yamashita, Y.: Immunocompetent cells in the pulp of human deciduous teeth. Arch of Oral Biol, 49 (1), 29-36, 2004.
- 2) Kikuchi, I., Wadachi, R., Yoshioka, T., Okiji, T., Kobayashi, C., Suda, H.: An experimental study on vasoconstriction effect of calcium hydroxide using rat mesentery. Australian Endo J., 29 (3), 116-119, 2004.
- 3) Han, L., Cruz, E., Fukushima, M., Okamoto, A. and Okiji, T.: An ultrastructural analysis of the prototype single-step adhesive applied on enamel and dentin surfaces. Dent Mater J., 23(3), 321-328, 2004.
- 4) Nakajo, K., Nakazawa, F., Iwaku, M. and Hoshino, E.: Alkali resistant bacteria in root canal systems. Oral Microbiology and Immunology, 19(6): 390-394, 2004.
- 5) Fukuda, T., Takenaka, S., Kota, K., Iwaku, M., Hoshino, E.: Aerotolerance of Peptostreptococcus anaerobius biofilms. Microbial Ecology in Health and Disease, 16(4), 205-210, 2004.
- 6) Han, L., Okamoto, A., Fukushima, M., and Okiji, T.: Enamel Micro-cracks Produced around Restorations with Flowable. Dent Material J., 24(1), 83-91, 2005.

- 7) Han, L., Okamoto, A. Kota, K. and Okiji, T.: Nanoleakage of various adhesive systems and dentin conditioning techniques -Comparison of Wet and Dry Techniques after Long-term Storage in Water-. Niigata Dental Journal, 34(2), 21-29, 2005.
- 8) 武井典子, 石川正夫, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 高齢者の審美と口腔ケア - 老人ホーム入所者の口腔状態調査 - . 歯科審美 17(1), 19-25, 2004.
- 9) 風間龍之輔, 福島正義, 石川和之, 興地隆史, 岩久正明: 歯科用 CAD/CAM CEREC SCAN により製作されたオールセラミッククラウンの適合性. 歯科審美 16(2) 247-254, 2004.
- 10) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 岩久正明: ヒトの歯における窩洞形成 - う蝕, ならびにう蝕治療に対するクラス II 抗原提示樹状細胞と神経線維の反応 - . 歯科臨床研究 1(2): 78-85, 2004.
- 11) 風間龍之輔, 子田晃一, 福島正義, 興地隆史, 岩久正明, 笠原悦男: 歯科用 CAD/CAM CEREC 3 によるオールセラミック修復物の適合性 - インターネットによる設計情報送信の影響 - . 歯科臨床研究 1(2), 43-51, 2004.
- 12) 金子友厚, 興地隆史, 高木 実, 須田英明: ラット実験の根尖性歯周炎における樹状細胞およびマクロファージの多様性に関する電顕免疫組織化学的研究. 日本歯科保存学雑誌, 47 (2), 328-334, 2004.
- 13) 安島久雄, 小野和宏, 前田健康, 永田昌毅, 高木律男, 山田好秋, 興地隆史, 魚島勝美, 葭原明弘, 花田晃治: 歯学教育プログラムへの PBL 教育の導入 - 南カリフォルニア大学歯学部における実態調査 - . 日本歯科医学教育学会雑誌, 20(1). 166-173, 2004.
- 14) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験 (OSCE) における概略評定の信頼性と妥当性 - 平成 15 年度本学歯学部 OSCE の解析 - . 日本歯科医学教育学会雑誌 20 (1), 135-141, 2004.
- 15) 重谷佳見, 楯 泰昌, 岡本 明, 韓 臨麟, 竹中彰治, 岩久正明, 子田晃一, 興地隆史: フッ化物徐放性コンポジットレジン修復後の辺縁歯質耐酸性に関する研究 - 人工脱灰後の辺縁形態の走査型共焦点レーザー顕微鏡による観察 - . 日本歯科保存学雑誌, 47(4), 529-534, 2004.
- 16) 石崎裕子, 韓 臨麟, 福島正義: 高出力 LED 照射が光重合型コンポジットレジンの効果特性と修復物窩縁部エナメル質の亀裂発生に及ぼす影響. 日本歯科保存学雑誌, 47(4), 633-641, 2004.
- 17) 興地隆史: 手術用実体顕微鏡を用いた根管内破折器具の除去. 新潟歯学会雑誌, 34 (2), 235-237, 2004.
- 18) 重谷佳見, 岡本 明, 岩久正明, 興地隆史: Er: YAG レーザーを用いた窩洞形成に関する研究. 新潟歯学会雑誌, 34(2), 87-88, 2004.
- 【研究成果報告書】**
- 1) 興地隆史, 小倉英夫, 井上 孝, 岩久正明, 岡本 明: 歯科医療における安全性の向上に関する総合的研究. 厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) 平成 15 年度総括・分担研究報告書. 課題番号 H15 - 医療 - 043, 2004 年.
- 2) 河野正司, 高木律男, 吉江弘正, 前田健康, 齋藤 力, 興地隆史, 小野和宏, 小林正治, 芳澤享子, 村田雅史, 毛利 環, 澤田宏二, 小村 健, 原田浩之: 歯の移植と歯の凍結保存. 平成 13-15 年度文部科学省高度先進医療開発経費研究成果報告書, 2004 年.
- 3) 武井典子 (分担): 口腔保健と全身的な健康状態の関係について「口腔と全身の健康」研究班 (主任 石井拓男). 平成 15 年度厚生労働省科学研究, 2004.
- 4) 武井典子 (分担): 「健康講座の受講者」から「住民主体型」の歯と口の健康づくり事業の新しい展開. 財団法人 8020 推進財団 平成 15 年度歯科保健活動助成, 2004.
- 5) 吉羽邦彦: 象牙質・歯髄複合体の再生機構の解明と再生療法への応用に関する基礎的研究. 平成 14 年度 - 平成 15 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2)) 研究報告書, 2004.
- 6) 興地隆史, 大島勇人: 根尖性歯周疾患の病態機序の解明 - 樹状細胞の動態免疫機能分子発現の解析 - . 平成 14-16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 研究成果報告書 課題番号 14370616, 2005 年.
- 7) 興地隆史, 小倉英夫, 井上 孝, 岩久正明, 岡本 明: 歯科医療における安全性の向上に関する総合的研究. 厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) 平成 16 年度総括・分担研究報告書 課題番号 H15 - 医療 - 043, 2005 年.
- 【受賞】**
- 1) 興地隆史: 第 25 回日本歯内療法学会学術大会大会会長賞. 7/11, 2004.
- 【学会】**
- 1) Takei, N., Ishikawa, M., Shibuya, K., Fukushima, M. and Iwaku, M.: Esthetics and Oral Care for the Elderly - Order-made Oral Care Based on an Assessment of Their Independence and Oral Condition - . The 8th Biennial Meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry/ The 15th

- congress of Japan Academy of Esthetic Dentistry, Program & Abstracts 113, Nagoya, 6/16-19, 2004.
- 2) Kazama, R., Fukushima, M., Takenaka, S., Okiji, T., Iwaku, M., Kasahara, E.: Adaptation of All-ceramic Crown Copings Fabricated by Dental CAD/CAM CEREC inLab. The 8th Biennial Meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry/ The 15th congress of Japan Academy of Esthetic Dentistry, Program & Abstracts, Nagoya, 7/16-19, 2004.
 - 3) Yoshida, N., Yoshida, K., Okiji, T., Hosoya, A., Ozawa, H. Corinne Stoetzel, Fabienne Perrin-Schmitt, Yves Cam, Jean Victor Ruch, and Herve Lesot Gene. Expression and Protein Distribution of Matrix Metalloproteinases and Their Inhibitors During Mouse Molar Tooth Development. 8th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation, University of York, York, 7/17-22, 2004.
 - 4) Shigetani, Y., Okamoto, A., Tate, Y., Iwaku, M., Kota, K. and Okiji, T.: Cavity Preparation Using Er:YAG Laser : Analyses of Cavity Surface Microstructure, Cutting Efficiency and Resin-Tooth Interfaces. The Eleventh International Symposium of the Japan-Russia Medical Exchange. 110, Niigata, 8/10-11, 2004.
 - 5) Kazama, R., Fukushima, M., Takenaka, S., Okiji, T., Iwaku, M., Kasahara, E.: Influence of Occlusal Reduction Forms and Milling Bur Diameters on the CEREC 3 Crown Adaptation. FDI world congress, 26, New Delhi, India, 9/9-13, 2004.
 - 6) Takenaka, S., Sakairi, M., Kazama, R., Fukushima, M., Okiji, T.: Inter-operator Variability of CEREC 3 CAD/CAM All-ceramic Crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Baltimore, 3/9-12, 2005.
 - 7) Kazama, R., Fukushima, M., Takenaka, S., Sakairi, M., Okiji, T., Kasahara, E.: Effect of marginal forms on marginal leakage of CEREC crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Baltimore, 3/9-12, 2005.
 - 8) 韓 臨麟, 石崎裕子, 岡本 明, 福島正義, 子田晃一, 興地隆史: 低重合収縮レジンを用いた際の窩縁部エナメル質微小亀裂の発生に関する研究. 日本歯科理工学会春期大会, 材料・器械, 4/10-11, 2004.
 - 9) 風間龍之輔, 福島正義, 笠原悦男, 岩久正明, 興地隆史: 支台歯咬合面形態とミリングバーが CEREC 3 クラウンの適合性に与える影響. 第 120 回日本歯科保存学会 2004 年度春季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (春季特別号), P115, 東京, 6/10-11, 2004.
 - 10) 子田晃一, 重谷佳見, 坂入正彦, 岩本優子, 尾添裕美子, 興地隆史: 超音波器材による歯質切削. 第 120 回日本歯科保存学会 2003 年度春季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (春季特別号), P78, 東京, 6/10-11, 2004.
 - 11) 韓 臨麟, 福島正義, 岡本 明, 興地隆史: 低粘性レジンを用いた際の窩縁部エナメル質微小亀裂の発生に関する研究. 第 120 回日本歯科保存学会 2003 年度春季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (春季特別号), P19, 東京, 6/10-11, 2004.
 - 12) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 概略評定の妥当性と信頼性 - 新潟大学歯学部 OSCE における検討 -. 第 23 回日本歯科医学教育学会学術大会, プログラム・抄録集 61, 新潟, 7/1, 2004 .
 - 13) 吉羽邦彦, 興地隆史, 富沢美恵子, 福島正義, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験 (OSCE) の信頼性の分析 - 「ラバーダム防湿」における検討 -. 第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, プログラム・抄録集, 新潟, 7/1-2, 2004.
 - 14) 藤井規孝, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 斎藤 功, 小野和宏, 山村健介, 中島貴子, 山田好秋, 宮崎秀夫, 前田健康: 新潟大学歯学部における FD ワークショップの試み. 第 23 回日本歯科医学教育学会学術大会, プログラム・抄録集 31, 新潟, 7/1, 2004 .
 - 15) 加藤一誠, 興地隆史, 樋浦健二, 小林哲夫, 石崎裕子, 魚島勝美, 宮崎秀夫, 山田好秋: 臨床実習教育支援のための患者管理システムの開発. 第 23 回日本歯科医学教育学会学術大会, プログラム・抄録集 91, 新潟, 7/2, 2004 .
 - 16) 興地隆史, 芳澤享子: 自家移植歯の歯内療法. 第 25 回日本歯内療法学会学術大会, プログラム・抄録集 59, 新潟, 7/11, 2004 .
 - 17) 武井典子, 小笠原妙子, 渋谷耕司, 柳沢幸江, 折津政江, 村越倫明, 石井拓男: 咀嚼と肥満の関連性に関する研究 - 第 2 報 咀嚼方法の違いによる食事前後の生化学検査値の比較 -. 第 53 回日本口腔衛生学会, 口腔衛生会誌 54(4) 334, 盛岡, 9/18, 2004.
 - 18) 武井典子, 藤本篤士, 石川正夫, 渋谷耕司, 岩久正明: 要介護者の口腔ケアに関する研究 (第 9 報) 口腔乾燥度と細菌を指標とした口腔清掃の効果について, 第 15 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, プログラム・事前抄録集 47, 鹿児島, 9/19, 2004.
 - 19) 細矢明宏, 中村浩彰, 星 和人, 佐原紀行, 二宮 禎, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 小澤英浩: 歯髓の硬組織形成

- 機構に関する微細構造学的研究 - ラット切歯歯髓皮下移植実験モデルを用いた検討 - . 第46回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, J. Oral Biosci. 46(5);7, 広島, 9/23-25, 2004.
- 20) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史, 細矢明宏, 小澤英浩: マウス切歯発生過程におけるTIMPsの発現. 第46回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, J. Oral Biosci. 46(5);303, 広島, 9/23-25, 2004.
- 21) 川岸恵理子, 楯 泰昌, 大島邦子, 野村修一, 大島 勇人: 高齢ラット臼歯窩洞形成後の歯髓におけるストレスタンパク質 HSP-25 発現と抗原提示細胞の動態について. 第46回歯科基礎医学会総会学術大会, J. Oral Biosci. 46(5); 95, 広島, 9/23-25, 2004.
- 22) 吉羽邦彦, 楯 泰昌, 吉羽永子, 岩久正明, 興地隆史, 大島勇人: 歯科用レーザーのう蝕治療への応用 - レーザー照射に対する歯髓反応について - . 第20回日本歯科医学会総会, 日本歯科医師会雑誌, 57(4):103, 横浜, 10/29-31, 2004.
- 23) 武井典子, 福島正義, 竹中彰治, 福田 敬, 石川正夫, 渋谷耕司, 岩久正明: 高齢者の自立度と口腔状態に基づくオーダーメイド口腔ケアシステムの開発. 第20回日本歯科医学会総会, 日本歯科医師会雑誌 57(4):120, 横浜, 10/29-31, 2004.
- 24) 重谷佳見, 岡本 明, 楯 泰昌, 子田晃一, 岩久正明, 興地隆史: Er:YAG レーザーによる窩洞形成 - コンポジットレジン修復への応用のための基礎的検討 - . 第20回日本歯科医学会総会, 日本歯科医師会雑誌, 57(4):105, 横浜, 10/29-31, 2004.
- 25) 風間龍之輔, 福島正義, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明, 笠原悦男: 歯科用CAD/CAM CEREC 3D システムについて. 第20回日本歯科医学会総会, 日本歯科医師会雑誌, 57(4), 横浜, 10/29-31, 2004.
- 26) 楯 泰昌, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 岩久正明, 興地隆史, 大島勇人: ラット臼歯への半導体レーザー照射に対する歯髓反応. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 11/13, 2004.
- 27) 風間龍之輔, 福島正義, 笠原悦男, 岩久正明, 興地隆史: 支台歯咬合面形態とミリングバーが CEREC3 クラウンの適合性に与える影響. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P84, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 28) 継 祐介, 風間龍之輔, 笠原悦男, 吉田貴光, 永沢 栄, 伊藤充雄, 庭野和明: マシーナブルセラミックスに対するレジンセメントの接着性について. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P80, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 29) 坂入正彦, 竹中彰治, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史: 歯科用CAD/CAM CEREC 3D システムによる設計データの再現性について. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P83, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 30) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 山田博仁, 笠原悦男, 小澤英浩: ラット皮下移植歯髓の硬組織形成機構に関する免疫組織化学的研究. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), B9, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 31) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史, 細矢明宏, 小澤英浩: マウス臼歯発生過程におけるMMP-2, -9, MT1-MMP およびTIMP-1, -2, -3の発現. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P116, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 32) 韓 臨麟, 岩本優子, 重谷佳見, 福島正義, 岡本 明, 興地隆史: 各種 One-step adhesive による歯質処理面の微細構造学的研究. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P77, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 33) 岩本優子, 韓 臨麟, 石川和之, 岡本 明, 子田晃一, 興地隆史: 歯内療法に用いる仮封材の封鎖性に関する研究. 第121回日本歯科保存学会2004年度秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P58, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 34) 竹田淳志, 吉岡隆知, 池田英治, 小林千尋, 須田英明, 興地隆史: 根管長測定可能な新しい学生実習用顎模型の開発. 第121回日本歯科保存学会秋季学会, 日本歯科保存学雑誌 47 (秋季特別号), P115, 長崎, 11/17-18, 2004.
- 【講習会】**
- 1) 興地隆史: 歯内療法の臨床エッセンス - 基礎から最先端まで - . 平成16年度歯科臨床研修医セミナー. 新潟大学医歯学総合病院, 7/28, 2004.
- 2) 興地隆史: 歯髓・根尖性歯周組織疾患と免疫学. 東京医科歯科大学歯学部, 11/26, 2004.
- 3) 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 斎藤 功, 小野和宏, 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 山村健介 (新潟大学歯学部FD委員会): 新潟大学歯学部FDワークショップ・新潟大学医歯学総合病院歯科臨床研修指導歯科医講習会. 新潟, 2/12-13, 2005.
- 【講演会・シンポジウム】**
- 1) Okiji, T.: Endodontic considerations for autotransplanted teeth. 11th Annual Meeting of the Japan-Russia Medical Exchange Symposium, Niigata, 8/10, 2004.

- 2) Okiji, T., Antonova, A. A. (Chairman): Dentistry. 11th Annual Meeting of the Japan-Russia Medical Exchange Symposium, Niigata, 8/10, 2004.
- 3) 興地隆史: 歯内療法臨床の最前線 - 効率化と難症例への対応 - .九州御茶ノ水会講演会, 福岡, 5/23, 2004 .
- 4) 武井典子: 行動変容に結びつく歯と口の健康教育, 徳島県歯科衛生士会, 徳島, 5/23, 2004.
- 5) 興地隆史: 歯内療法の難症例とその対策. 西蒲原郡歯科医師会学術研修会, 巻, 6/25, 2004 .
- 6) 興地隆史: 卒後研修必修化を控えた卒前臨床実習のあり方 - 教員・学習者の視点から - . シンポジウム 卒後研修必修化を控えた卒前臨床実習のあり方. 第23回日本歯科医学教育学会学術大会, 新潟, 7/2, 2004 .
- 7) 興地隆史: 歯内疾患と免疫学 - 歯髄生物学と臨床の連携を求めて. 教授就任講演. 平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 7/10, 2004 .
- 8) 興地隆史, 吉羽邦彦, 吉羽永子: 抗原提示細胞の動態を指標とした接着性修復材料の in vivo での評価. 日本歯科理工学会中部支部夏期セミナー 蒲郡, 8/24, 2004.
- 9) 武井典子: 歯科衛生士の学会活動と専門性の推進を考える 研究活動の推進, 日本口腔衛生学会歯科衛生士委員会. 第53回日本口腔衛生学会自由集会4, 口腔衛生会誌, 54(4);310, 盛岡, 9/17, 2004.
- 10) 興地隆史: 現代の歯内療法の潮流 - 予知性の向上を求めて - . 三市中東蒲原郡歯科医師会学術講演会, 新津, 10/2, 2004.
- 11) 吉羽邦彦: 象牙質 / 歯髄複合体の生体防御反応とその保存療法. 三島郡歯科医師会学術講演会, 寺泊, 10/16, 2004.
- 12) 興地隆史: 歯内療法の現在 - 予知性の向上と効率化 - . 新潟大学歯学部歯科保存学第一教室同門会講演会, 新潟, 10/23, 2004 .
- 13) 吉羽邦彦: 歯内療法の臨床を支える免疫病理学 - 生体防御・修復機構研究の最前線より - , 象牙質 / 歯髄複合体の生体防御・修復機構, 日本歯内療法学会第11回認定医セミナー, 東京医科歯科大学, 11/7, 2004.
- 14) 興地隆史, 東みゆき, 吉羽邦彦: 歯内療法の臨床を支える免疫病理学 - 生体防御・修復機構研究の最前線より - . 第11回日本歯内療法学会認定医セミナー, 東京, 11/7, 2004 .
- 15) 興地隆史: 根尖歯周組織の生体防御・修復機構. 第11回日本歯内療法学会認定医セミナー, 東京, 11/7, 2004 .
- 16) 興地隆史: 歯内療法臨床の最前線 - 効率化と難症例

への対応 - . 新窓会講演会, 新潟, 2/27, 2005 .

【その他・商業誌等】

- 1) 興地隆史: 象牙質と歯髄の加齢現象. Clinical Calcium, 14 (4); 98-101, 2004.
- 2) 中澤 太, 山崎祐司, 中條和子: 口腔微生物に対する Tea Tree Oil の殺菌効果. The Quintessence 23(4); 204-210, 2004.
- 3) 竹中彰治, 小林幸恵, 増田貴弓, 西川幸枝, 村山美根子, 福島正義: 口腔ケアとしてのホームブリーチングの細菌学的評価. 歯科漂白, 第2巻, 36-39, 2004.
- 4) 石崎裕子, 興地隆史, 福島正義, 小林哲夫, 魚島勝美: 平成15年度臨床研修医症例報告集第4号. 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2004.

歯周診断・再建学分野

【論文】

- 1) Okuda K, Momose M, Murata M, Saito Y, Inoie M, Shinohara C, Wolff LF, Yoshie H: Treatment of chronic desquamative gingivitis using tissue-engineered human cultured gingival epithelial sheets: a case report. Int J Periodontics Restorative Dent, Apr 24(2): 119-25, 2004.
- 2) Yamamoto K, Kobayashi T, Grossi S, Ho AW, Genco RJ, Yoshie H, De Nardin E: Association of Fcγ receptor IIa genotype with chronic periodontitis in Caucasians. J Periodontol, Apr 75(4): 515-20, 2004.
- 3) Morozumi T, Kubota T, Sato T, Okuda K, Yoshie H: Smoking cessation increases gingival blood flow and gingival crevicular fluid. J Clin Periodontol, Apr 31(4): 267-72, 2004.
- 4) Gonzales JR, Kobayashi T, Michel J, Mann M, Yoshie H, Meyle J: Interleukin-4 gene polymorphisms in Japanese and Caucasian patients with aggressive periodontitis. J Clin Periodontol, May 31(5): 384-9, 2004.
- 5) Shimada Y, Tai H, Endo M, Kobayashi T, Akazawa K, Yamazaki K: Association of tumor necrosis factor receptor type 2 +587 gene polymorphism with severe chronic periodontitis. J Clin Periodontol, Jun 31(6): 463-9, 2004.
- 6) Kaneko S, Kobayashi T, Yamamoto K, Jansen MD, van de Winkel JGJ, Yoshie H: A novel polymorphism of FcαRI (CD89) associated with aggressive periodontitis. Tissue Antigens, Jun 63(6): 572-7, 2004.